第 2 回 OECD 保健大臣会合について

会合の概要

OECD が約 5 年に 1 度開催する保健大臣による会合であり、OECD 加盟国に共通の保健医療課題及びその対策について議論することを目的としている。

※OECD 加盟国 (日本、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、チリ、チェコ、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イスラエル、イタリア、韓国、ルクセンブルグ、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、トルコ、イギリス、アメリカ)

議 題

今回は、「経済危機後の保健医療制度の優先課題」をテーマに開催される。経済危機後の保健医療制度の優先課題について意見交換し、議論の結果及び OECD における将来の作業の方向性を盛り込んだコミュニケがとりまとめられる予定。

テーマ:「経済危機後の保健医療制度の優先課題」

セッション1:「厳しい財政下における保健医療制度の優先課題」

セッション2:「健康的な選択」

会合日程

10月7日(木)～8日(金) 第2回 OECD 保健大臣会合

【参考:これまでの開催経緯】

第1回会合(2004年5月:フランス(パリ))

テーマ:「質の良い効率的な医療システムに向けて」